

第7章 計画段階環境配慮書の案についての意見と 事業予定者の見解

第7章 計画段階環境配慮書の案についての意見と事業予定者の見解

7.1 一般の環境の保全の見地からの意見と事業予定者の見解

一般国道6号小美玉道路（仮称）の概略計画を検討する際の目的・課題について、地域の皆様から意見をいただきました。

その結果、生活環境、自然環境に関する意見と事業予定者の見解は表7-1に示すとおりです。

表 7-1(1) 地域の皆様からの主な意見と事業予定者の見解

計画段階 配慮事項	意見の概要	事業予定者の見解
環境全般	<ul style="list-style-type: none"> 電気自動車の復旧が進まず、CO2の排出が気になるので、道路が便利になることについて反対はしないが交通量は増えて欲しくない。 	<p>事業実施に向けては、本事業の目的を勘案しつつ、環境面について配慮します。</p> <p>また、今後の環境影響評価の手続きにおいては、具体的なルートや道路構造を決定する段階で、調査、予測及び評価を行い、必要に応じて環境保全措置等の配慮を行います。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> どちらの案になっても、現在生活している地域住民の生活環境を悪くしたり、コミュニティを分断することは避けてほしい。生活者に配慮したルートを選んでほしい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 現道拡幅で桜並木がなくなるのはしかたがない。撤去するのも良いと思う。昔は松並木だった。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 春には見に行っているのので、国道6号の桜並木は残して欲しい。 	
生活環境 (大気・騒音)	<ul style="list-style-type: none"> バイパス案は(石岡市内の)騒音や振動対策となり、時短にもなるので、バイパス案の方がよい。 	<p>事業実施に向けては、本事業の目的を勘案しつつ、大気質、騒音、振動への影響に配慮します。</p> <p>また、今後の環境影響評価の手続きにおいては、具体的なルートや道路構造を決定する段階で、調査、予測及び評価を行い、必要に応じて環境保全措置等の配慮を行います。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> バイパス案は騒音や振動対策となり、時間短縮にもなる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 騒音や振動対策、時間短縮となり、地域の活性化にもつながるので、バイパス案の方が良い。 	
	<ul style="list-style-type: none"> バイパス案は住宅を避けた案のため、拡幅案より早めに事業が出来、騒音や振動対策となり、時短にもなる。通過交通はバイパスで抜けて欲しい。そうすれば地元で6号現道を使いやすくなる。現在は大型車が多くて怖い。信号待ちが長く時間がかかる。時間が読めないため裏道を使っている。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 立体交差を多用するなどして、自動車のストップアンドゴーの削減をお願いしたい。これにより通過時間の削減や周辺住宅への騒音の低減、ひいては通過時の自動車の燃費削減効果が見込め、CO2削減や排気ガスによる周辺環境汚染の低減に寄与できる。 	

表 7-1 (2) 地域の皆様からの主な意見と事業予定者の見解

計画段階 配慮事項	意見の概要	事業予定者の見解
生活環境 (大気・騒音)	<ul style="list-style-type: none"> ・排ガス問題の解消、医療連携に良い、病院まで時間がかかる、スピード対応のため信号は少ない方が良いなどから、バイパスが良い。 	(前ページに示します。)
	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道環境の視点から、地域住民に配慮した道路整備をしてほしい。また、過去に事故にあった経験があり、バイパス周辺の道路が通学路になっているので、今後、交通量が増えることを配慮した道路整備をしないと、事故が起きてしまう。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の時間帯は車の量が多く、トラックも多い。B案のバイパスができれば現道周辺の振動や音が解消されて良い。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・車両が速く走れる方が排ガス問題等に良いので、ルート案はバイパスが良い。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・A案だと、住んでいる人は静かになる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・拡幅すると交通量が増えるので騒音、振動の増加による影響が心配である。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音や振動対策となり、時短にもなるのでバイパスの整備を望む。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・排気・騒音は重要だと思う。近くに住んでいる方の住環境への配慮が重要である。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・通過する交通を分散させることで現道の騒音、振動も少なくすることができると思う。現道は今うるさいので増えるのは心配である。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在でも振動、騒音で沿道住民は十分苦しんでいる。A案の場合、拡幅することでさらに交通量が増えて一層、振動や騒音に悩まされることにならないか心配である。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音影響とか言っているのに保育園の近くを通るルートは意味がわからない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・道路ができることでマイナスが発生しないかという面だけでなく、住宅地としての価値の上昇、地域活性化などのプラスが生まれるかも評価できると良い。ただ、もしバイパスが整備されてトラック基地ができたなら、音や振動が発生するのはマイナスだが、雇用が生まれるという点ではプラスなので、両面ある場合も考えられる。 		

表 7-1(3) 地域の皆様からの主な意見と事業予定者の見解

計画段階 配慮事項	意見の概要	事業予定者の見解
生活環境 (大気・騒音)	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 6 号の拡幅に賛成しない。過去に国道 6 号の拡幅工事(夜間)がうるさく精神的に大変な思いをした。夜間工事に反対である。 	(前ページに示します。)
	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音、振動についてはぜひ AB 案と比較しておいて欲しい。周辺に住居、病院、学校が少ない BP 案が評価されるのではとの思いがある。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・評価指標はこのままで良い。渋滞や排気ガスを懸念しており、それらが評価指標に網羅されているため。 	
自然環境(動植物・生態系)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のため自然、文化財を大事にして欲しい。 	<p>事業実施に向けては、本事業の目的を勘案しつつ、動物、植物、生態系への影響に配慮します。</p> <p>また、今後の環境影響評価の手続きにおいては、具体的なルートや道路構造を決定する段階で、調査、予測及び評価を行い、必要に応じて環境保全措置等の配慮を行います。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・B 案の場合、住宅や施設を避けようとする自然環境が残っているところを通すことになるだろう。ある程度はやむを得ないと思うが、できるだけ自然環境を保全できるよう配慮してほしい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境と歴史文化資源への影響を一緒に論じるのは違うと思う。 	

7.2 地方公共団体の長からの意見と事業予定者の見解

一般国道6号小美玉道路（仮称）の計画段階評価にかかわる意見照会について、計画段階評価の意見も兼ねて茨城県知事、石岡市、小美玉市、茨城町の市町長に意見聴取を実施しました。その意見と事業予定者の見解は表7-2に示すとおりです。

表7-2 地方公共団体の長からの意見と事業予定者の見解

計画段階 配慮事項	意見の概要	事業予定者の見解
茨城県	<p>一般国道6号は、本県を縦断する大動脈として、地域の産業と経済活動を支えるとともに、災害時には、円滑な救援活動及び復旧活動に資する緊急輸送道路としての役割も担う、大変重要な幹線道路です。本県としても広域道路ネットワークの強化に積極的に取り組んでまいりますので、一日も早い完成に向けて、早期に事業着手されますよう、特段のご配慮をお願いいたします。</p> <p>また、事業実施にあたっては、大気質、騒音、水質、地下水、地盤沈下等への影響や重要な動植物、生態系や景観への影響に配慮し、地域の生活環境や自然環境への影響をできる限り回避・低減するよう努めていただきますようお願いいたします。</p>	<p>事業実施に向けては、本事業の目的を勘案しつつ、環境面について配慮します。</p> <p>また、今後の環境影響評価の手続きにおいては、具体的なルートや道路構造を決定する段階で、調査、予測及び評価を行い、必要に応じて環境保全措置等の配慮を行います。</p>
石岡市	<p>事業実施に向けて、一部、市街地の近傍を通過する箇所にあつては、大気質、水環境、騒音等の生活環境への影響に配慮するとともに、重大な動植物の生息・生育地等の自然環境への影響に配慮し、地域への影響をできる限り回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。</p> <p>さらに、埋蔵文化財等重要な歴史資産の存在が想定される箇所においては、回避や影響の低減に努めていただき、十分な調査、保存対応を実施のうえ、整備を進めるようお願いいたします。</p>	
小美玉市	<p>一般国道6号小美玉道路（仮称）は小美玉市と他都市を効率的に連絡し、広域的な連携を担う極めて重要な道路であり、市民が健全な日常生活を営み、企業が経済活動を行う上でも大きな役割を担う道路ともなりますので、周辺の自然環境への影響に十分な配慮と対策を講じつつ、早期に事業着手されますよう、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	
茨城町	<p>一般国道6号の当該区間及び茨城町バイパスの未整備区間は、地域住民の安全・安心の確保や地域産業の振興を図る上でも、大変重要な幹線道路でありますことから、周辺の文化財や自然環境への影響に配慮し、地域への影響をできる限り回避・低減に努めていただきつつ、早期に事業着手されますよう、特段のご配慮をお願いいたします。</p>	